

日本気象学会第26期役員選挙開票結果

I 投票の内訳

投票総通数	1,616通
無効投票通数	18通
有効投票通数	1,598通
有権者数	3,664名
規定有効得票数	367票

区 分	投票総数	有効票数	白票数	無効票数
北海道地区理事	3,196	2,911	281	4
東北地区理事	3,196	2,895	297	4
関東地区理事	20,774	18,726	2,002	46
中部地区理事	3,196	2,900	294	2
関西地区理事	6,392	5,702	682	8
九州地区理事	4,794	4,228	560	6
沖縄地区理事	1,598	1,437	157	4
監 事	3,196	2,941	255	0

II 候補者別得票数

1. 理 事

〔北海道地区理事〕

当選 二宮 洸二	1,455票
当選 菊池 勝弘	1,449票
次点 なし	
その他	
7名	……………各1票

〔東北地区理事〕

当選 田中 正之	1,443票
当選 鈴置 哲朗	1,433票
次点 なし	
その他	
近藤 純正	…………… 6票
木村富士男, 安田 延寿	……………各2票
9名	……………各1票

〔関東地区理事〕

当選 浅井 富雄	1,406票
当選 村上 勝人	1,388票
当選 青木 孝	1,366票
当選 木田 秀次	1,356票

当選 中村 一	1,353票
当選 小倉 義光	1,318票
当選 安富 裕二	1,298票
当選 松原 廣司	1,281票
当選 佐藤 信夫	1,266票
当選 藤谷徳之助	1,236票
当選 竹内 清秀	1,233票
当選 安成 哲三	1,207票
当選 村山 信彦	1,060票
次点 松野 太郎	950票
次点 岡村 存	910票

その他

木村 竜二	…………… 5票
新田 尚	…………… 4票
増田 耕一	…………… 3票
川口 貞男, 駒林 誠, 河村 武,	
丸山 健人, 杉村 行勇, 根本 順吉,	
伊藤 朋之	……………各2票
72名	……………各1票

〔中部地区理事〕

当選 武田 喬男	1,451票
当選 山岸米二郎	1,437票
次点 なし	
その他	
田中 浩	…………… 3票
9名	……………各1票

〔関西地区理事〕

当選 廣田 勇	1,446票
当選 光田 寧	1,425票
当選 植村 八郎	1,402票
当選 佐橋 謙	1,398票
次点 なし	
その他	
山元龍三郎	…………… 4票
村松 久史	…………… 3票
小元 敬男	…………… 2票
22名	……………各1票

〔九州地区理事〕

当選	瓜生 道也	1,426票	
当選	門脇俊一郎	1,411票	
当選	小林 哲夫	1,368票	
次点	なし		
その他			
	高橋 勲	……………	6票
	古川 武彦	……………	3票
	能登 正之, 山形 俊男	……………	各2票
	10名	……………	各1票

高谷 悟	……………	4票
3名	……………	各1票

2. 監 事

当選	多田 一正	1,462票
当選	関口 理郎	1,456票
次点	なし	
その他		
	吉野 正敏	……………
	21名	……………

〔沖縄地区理事〕

当選	石島 英	1,430票
次点	なし	
その他		

平成2年7月6日

日本気象学会選挙管理委員会

上記の開票結果に間違いのないことを認めます。

開票立会人 岩淵 敏明



朝倉 正編著
産業と気象のABC

—ビジネスに生かす気象情報—
成山堂書店, 1990年
A5版, 240ページ, 定価2,000円

気象学と社会とのかわりかたの点で、気象学が医学と類似していることはこれまでもよく指摘されてきた。基礎学問と観測、診断、予報などについては気象学の研究も多く行われている。どういうわけか医学での臨床にあたる応用気象の研究は、日本の気象界では、必ずしも十分であるとはいえない。このような現状をかえりみると、気象情報の利用に関する幅広い分野を対象としている本書を歓迎したい。目次をあげると次のとおりである。

- 第1章 産業と気象
- 第2章 ウェザーマーチャンダイジング
- 第3章 電力と気象
- 第4章 家電と気象
- 第5章 農作物と気象
- 第6章 産業と異常気象
- 第7章 景気と気象

第8章 ウェザルーティング

第9章 航空と気象

本書は、6人の専門家による共同執筆のためか、全体としてのまとまりがない感じがする。しかし、各章が分担執筆者の思うままに書かれているようだ。その業界の人でないとは知ることができないことも盛り込まれている。たとえば、「ルームエアコンはかなりの高額な買い物となるためと、しかも、男性が使用の中心となるため、週末に、一家の主人が直接に購買行動に出て購入されるケースが多い。このため、ウィークデーは販売への下見はあっても実売は、土、日、祭日が多くなる。従って、ウィークデーは気象条件に恵まれなくても、週末に天気上好転することが必要である。」といった見方など、経験からにじみでた記述に思わずなるほどと納得するところが少なくない。

すぐに役に立つようなマニュアルや教科書にはなっていないとしても、この本の副題に「ビジネスに生かす気象情報」とあるように、商売のヒントになることはたくさんありそうだ。また気象情報を提供している側の人にとっても、どのように利用されているかを知ろうえでは興味のある本といえる。

(気象庁長期予報課・青木孝)